

# 全国学力学習状況調査について

4月に6年生を対象に実施されました『全国学力学習状況調査』の結果をお知らせします。この調査は、6年生の学力と学習状況を把握するため実施されています。内容は、「国語A：主として知識」「国語B：主として活用」「算数A：主として知識」「算数B：主として活用」「理科」「児童質問紙調査」となっています。

この調査は、6年生の4月段階での学力の傾向を示し、教育内容を把握することで、本校児童の傾向を推し量る上での重要な資料となるものです。

	〈西岡小学校の概要〉	〈今回調査の課題〉	〈改善の方向〉
〈国語A…主として知識〉	<p>□「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域全てで、全国平均を下回りました。</p> <p>●「話すこと・聞くこと」では、「相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて、事例などを挙げながら筋道を立てて話す」で下回りました。</p> <p>●「書くこと」では、「自分の想像したことを物語に表現するために、文章全体の構成の効果を考える」で下回りました。</p> <p>●「読むこと」では、「目的に応じて必要な情報を捉える」で上回りましたが、「登場人物の心情について、情景描写を基に捉える」で下回りました。</p> <p>●「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書く」で上回りましたが、「相手や場面に応じて適切に敬語を使う」で下回りました。</p>	<p>■状況に応じて適切に説明するために相手の知識を確認するという登場人物の意図を、捉えることができなかった。</p> <p>■出来事に変化を加えながら繰り返して書く構成の工夫と、その効果を捉えることができていない。</p> <p>■物語のこれまでのあらすじや登場人物の状況と風景や様子を表す表現とを関連付けて捉えることができなかった。</p>	<p>□日常の活動の中で、下級生に説明する場を活用する。</p> <p>□構成の工夫とその効果を捉えるという観点で、複数の物語を読むことを通して、それぞれの作品の構成ととの効果を分析し、まとめる。</p>

	〈西岡小学校の概要〉	〈今回調査の課題〉	〈改善の方向〉
〈国語B…主として活用〉	<p>□「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の領域全てで、全国平均を下回りました。</p> <p>●「話すこと・聞くこと」では、「話合いの参加者として、質問の意図を捉える」でやや下回りました。</p> <p>●「書くこと」では、「話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる」で下回りました。</p> <p>●「読むこと」では、「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかく」で大きく下回りました。</p>	<p>■いくつかの条件を満たすように記述する問題では、条件不足の解答が見られた。</p> <p>■本文から抜粋した言葉や文を使って自分の考えを記述することができなかった。</p>	<p>□話し合い活動の場を多く設定する。デジタル機器も活用し、話し合いの様子を客観視し、振り返られるようにする。</p> <p>□目的に応じた適切な伝記を選んで読んだり、複数の伝記を比べて読んだりする機会を設ける。</p>

	〈西岡小学校の概要〉	〈今回調査の課題〉	〈改善の方向〉
〈算数A…主として知識〉	<p>□「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」の領域全てで、全国平均を下回りました。</p> <p>●「数と計算」では、「除法で表すことができる二つの数量の関係を理解している」で上回り、「小数の除法の意味を理解している」で下回りました。</p> <p>●「量と測定」では、「単位量当たりの大きさを求める除法の式と商の意味を理解している」で下回りました。</p> <p>●「図形」では、「直径の長さとお円の長さの関係について理解している」で下回りました。</p> <p>●「数量関係」では、「百分率を求めることができる」で大きく下回りました。</p>	<p>■「1mの重さが10kgの棒の0.8mの重さは？」のように比較量を求めるときにも、乗法でなく除法を選んでしまった。</p> <p>■1m当たりの人数を求める除法の式の意味を理解していない。</p> <p>■基準量と比較量を正しく捉えることができず、わる数とわる数とを逆に立式した。</p>	<p>□図や数直線などを用いて、数量の関係を的確に捉え、立式ができるよう指導する。</p> <p>□式の意味を問題場面や図と関連付けて捉える場を設定する。</p> <p>□テープ図や数直線を使って、問題場面から比較量と基準量を正しく捉える練習を行う。</p>

	〈西岡小学校の概要〉	〈今回調査の課題〉	〈改善の方向〉
〈算数B…主として活用〉	<p>□「図形」の領域は、全国平均を上回りましたが、「数と計算」「量と測定」「数量関係」の領域では、全国平均を下回りました。</p> <p>●「数と計算」「量と測定」では、「示された考え方を解釈し、ほかの数値の場合を表に整理し、条件に合う時間を判断することができる」で大きく下回りました。</p> <p>○「図形」では、「合同な正三角形で敷き詰められた模様の中に、条件に合う図形を見いだすことができる」で上回りました。</p> <p>●「数量関係」では、「メモの情報とグラフを関連付け、総数や変化に着目していることを解釈し、それを記述できる」でやや下回りました。</p>	<p>■正三角形4つではなく、正三角形6つでできている図形を見いだしてしまっただ。</p> <p>■問題中のメモに示されている数値が、グラフのどの部分に着目したものなのか捉えて記述することができなかった。</p>	<p>□図形に対する見方や感覚を豊かにするために、正三角形4つできている平行四辺形や6つできている正六角形を見いだす活動を設定する。</p> <p>□グラフから読み取った情報を、総数や変化といった観点で分類し、それぞれの情報について意見を出し合う活動を設定する。</p>

	〈西岡小学校の概要〉	〈今回調査の課題〉	〈改善の方向〉
〈理科…知識・活用〉	<p>□「エネルギー」の領域では、全国平均を上回りましたが、「物質」「生命」「地球」の領域では、全国平均を下回りました。</p> <p>●「物質」では、「物を水に溶かしても全体の重さは変わらないことを食塩を溶かして体積が増えた食塩水に適応できる」で大きく下回りました。</p> <p>○「エネルギー」では、「乾電池のつなぎ方を変えると電流の向きが変わることを実際の回路に適応できる」で上回りました。</p> <p>●「生命」では、「安全に留意し、生命を愛護する態度をもって、野鳥のひなを観察できる方法を構想できる」で下回りました。</p> <p>●「地球」では、「土地の侵食について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想できる」で下回りました。</p>	<p>■食塩水の増えた体積だけ全体の重さも増えると捉え、物を水に溶かしても全体の重さは変わらないことへの理解が不十分。</p> <p>■土地の侵食について、予想を確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想することが必要。</p>	<p>□既習の内容と実験結果を関連付けて、根拠をもって自分なりの考えを述べることを大切にすること。</p> <p>□どのような予想を確かめたい実験なのかを明確にし、実験方法の妥当性や得られる結果の見通しなどを子ども同士で検討する場面を設定すること。</p>

今回の調査では、62項目にわたって生活習慣、学習意欲、学習方法、学習環境等についての質問紙調査も実施されました。ここでは、特に全国との差の見られる項目について、その特徴・状況をお知らせいたします。

〈全国を上回る本校のよさ〉		〈課題として受け止めている事項〉	
①	○「家で、学校の授業の予習・復習をしている」が全国平均より16.4%上回りました。	①	●「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」が全国平均より4.6%下回りました。
②	○「算数の勉強は大切だと思いますか」が全国平均より10.6%上回りました。	②	●「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」が全国平均より5.5%下回りました。
③	○「将来の夢や目標を持っていますか」が全国平均より5.3%上回りました。	③	●「家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか」が全国平均より7.2%下回りました。
④	④ 「週末に何をして過ごすことが多いですか」で「学習塾など学校や家以外の場所で勉強している」が全国平均より8.7%下回り、「家でテレビやビデオ・DVDを見たり、ゲームをしたり、インターネットをしたりしている」が5.8%上回りました。		